

# 令和6年度当初予算のご案内

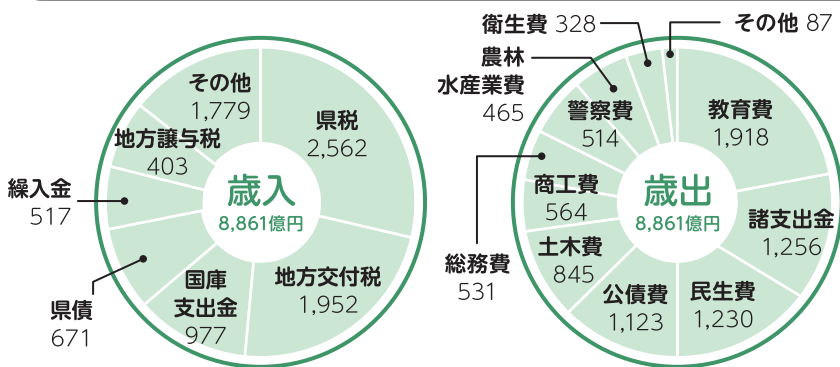
清流の国ぎふ  
マスコットキャラクター  
ミナモ



清流の国ぎふ  
ミナモ通信

令和6年度は、能登半島地震の発生、物価の高騰、加速する人口減少・少子高齢化など、県政を取り巻く環境・課題を踏まえ、「『清流の国ぎふ』づくり～確かな未来の創造～」をテーマに、①持続可能な「清流の国ぎふ」を目指して、②暮らしやすい「清流の国ぎふ」の実現、③「清流の国ぎふ」の魅力向上と発信の3つを重要政策群として位置づけ、当初予算を編成しました。 ■問/県財政課 ☎058(272)1130 [岐阜県の財政・予算web](#) [検索](#)

## 予算の規模(単位:億円)



**ポイント**

- ☑ 一般会計の総額は8,861億円 (予算総額は12年ぶりに若干のマイナス)
- ☑ 政策課題について重点的な配分を行う。いつも、事業見直しの徹底などの効率化をあわせて進めることで、**メリハリのある編成**

## 「清流の国ぎふ」づくり～確かな未来の創造～

### 1 持続可能な「清流の国ぎふ」を目指して

#### ① 県土と危機管理体制の更なる強靱化

- 住宅などの耐震診断・改修に対する支援の拡充(1億774万円)
- 孤立の発生やライフラインの途絶に備えた備蓄資材の拡充(8,784万円)

#### ② 人への投資

- 県内企業に就職する若者への奨学金返還支援制度の創設(811万円)
- 看護学生に対する修学資金貸付制度の創設(3,604万円)

#### ③ 産業への未来投資

- スタートアップを後押しする事業化支援と専門コンシェルジュの設置(1億4,371万円)
- オールジャパンの海外プロモーションの編成・参加による県産農畜水産物の輸出拡大(722万円)
- 森林を活用したビジネス創出への支援や「ぎふ森の体験博覧会(仮称)」の開催による森林サービス産業の育成・普及(2,250万円)

#### ④ GX・DXの推進

- 県独自の「G-クレジット」の本格運用や県営林での「J-クレジット」の販売推進(7,682万円)
- 企業間の商取引を効率化するデジタルインボイスの普及に向けた支援(2,710万円)

### 2 暮らしやすい「清流の国ぎふ」の実現

#### ① 困難な状況からの脱却に向けた経済対策

- 物価高騰下における生活者、事業者への支援策の延長(13億9,957万円)
- 本年6月の報酬改定に先駆けた介護職員や看護補助者などへの賃上げ支援(8億5,603万円)
- 鳥インフルや豚熱に備えた農場の分割管理などに必要な施設整備支援(3,909万円)

#### ② 暮らしの安全安心確保

- 新興感染症に備えた医療機関に対する設備整備の支援などの実施(2億3,740万円)
- ケアラー支援に向けた実態調査と計画策定、SNSなどを活用した相談体制の構築(2,644万円)

#### ③ 少子化対策の推進

- 出産・子育て応援ギフトや第2子以降の出産祝金など子育て世帯への経済支援(15億9,383万円)
- 子育て世帯の移住促進に向けた移住支援金の拡充や魅力発信フェアなどの実施(1億3,202万円)



### 3 「清流の国ぎふ」の魅力向上と発信

#### ① 清流文化の創造・発信

- 「『清流の国ぎふ』文化祭2024」の開催(7億6,684万円)
- 「清流の国ぎふ総文2024」の開催(4億7,888万円)



#### ② 観光・交流の推進

- 県内「もう一泊」による県全域へのインバウンド誘客の推進(4,490万円)
- 協定などを締結するポーランド・シロンスク県、フランス・アルザス、中国・江西省の文化紹介展などによる国際交流の深化(3,178万円)

#### ③ 地域の新たな魅力創出

- 奥飛驒ビジターセンターのリニューアルオープンをはじめ「松本高山Big Bridge構想」の展開(7,394万円)
- 菓草の商品開発や情報発信など菓草の里づくりプロジェクトの展開(1,000万円)